

©平成19年度文部科学省

「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」

生涯健康を目指した 学生健康支援プログラム

－生涯健康教育の推進と健康支援の充実－



岐阜大学は、文部科学省の平成19年度「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム（学生支援GP）」に選ばれました。学生の人間力を高め人間性豊かな社会人を育成するための組織的かつ総合的なプログラムで、特段の効果の上がっている取り組みの大学が選定されたものです。本学は今まで、生涯、心身ともに健康で社会で活躍する学生を送り出す責務を自覚し、真摯に取り組んできたことを基盤に「生涯健康教育」を中心課題としました。

◎平成19年度文部科学省

「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」

生涯健康を目指した 学生健康支援プログラム

－生涯健康教育の推進と健康支援の充実－

GIFU UNIVERSITY

平成19年度文部科学省

「新たな社会的ニーズに対応した 学生支援プログラム(学生支援GP)」とは

学生の人間力を高め人間性豊かな社会人を育成するため、各大学・短期大学・高等専門学校における、入学から卒業までを通じた組織的かつ総合的な学生支援プログラムのうち、学生の視点に立った独自の工夫や努力により特段の効果が期待される取組を含む優れたプログラムを選定し、広く社会に情報提供するとともに、財政支援を行うことで、各大学等における学生支援機能の充実を図るものです。

◎「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」の
国公立大別の件数と採択率

区分	■申請件数		
	国立	公立	私立
大学	74	19	114
短期大学	—	1	28
高等専門学校	36	0	0
計	110	20	142

区分	■採択件数		
	国立	公立	私立
大学	21	6	21
短期大学	—	1	11
高等専門学校	11	0	0
計	32	6	32

採択率：29.1% 30.0% 22.5%

■ 選定理由 (学生支援機構評価文より)

岐阜大学においては、保健管理センターが中心となって、生涯健康教育を目標とした総合的な学生支援を実施してきており、学生の喫煙率の大幅減少など注目すべき成果を上げています。今回新たに、学生相談のラウンジの設置、IT利用による健康指導等により、これまでの健康教育支援を深化させようとしており、高く評価できます。これにより、学生の自分自身の健康に対する意識が高まるものと期待されます。さらに、単に在学中だけでなく、卒業後における(健康への)学生の自己管理能力が増進することが期待できます。以上により、本取組は、他の大学等の参考となる先進的で優れたものであると言えます。

■ プログラムの概要

大学は、教養・専門教育と並んで、肉体的・精神的に健康な学生を社会に送る責任があります。岐阜大学は、憲章と基本方針に、学生の生涯にわたる健康を支援することを明文化し、様々な対策を講じてきました。たとえば、(1)質の高い健康診断を行いその結果に基づいた個別指導、個別支援の充実、(2)肥満(男子学生の13%)や痩せすぎ(女子学生の18%)の学生に対して、専門医や保健師による血液検査に基づく健康指導の実施、(3)学生に喫煙習慣をつけないためのキャンパス全面禁煙の実現と、ニコチン代替療法を無料で実施し喫煙学生を確実に減少させたこと、(4)新入生全員に健康調査面接を行い、精神科専門医や臨床心理士が継続的に行う個別支援の実施、などです。本プログラムは、「生涯健康教育」の推進に向けて、保健管理センターを中心に全学的なネットワークによる健康支援体制を充実させ取り組んでいきます。



【生涯健康の重要性】

自らの健康を管理するための知識や実践力を習得することは、生涯にわたる健康の礎となるものです。本プログラムは、大学生時代の軽微な健康障害を支援対象として、健康増進をはかることにより、将来の重篤な健康障害を防ぐことを目的としています。たとえば、大学生時代の「肥満」を解消することにより、「糖尿病」や「動脈硬化症」など将来の肥満関連疾患を予防できる事は多くの報告があります。また、女子学生の「高度やせ」や「生理不順」を放置すれば、将来の「不妊」をひきおこしかねません。ほんの好奇心から喫煙をはじめたことが将来の「肺癌」危険度を高めることは周知の事実です。大学生のメンタルヘルス失調に対応することも、将来の社会適応不良の予防に重要であることも指摘されています。本取組は、生涯健康で社会で活躍する人材を育成することを目指しています。

【禁煙教育の充実・強化】

岐阜大学は、1996（平成10）年から禁煙教育に取り組み、近年は確実に学生の喫煙を低下させる実績を示してきました。大学環境の改善は、学生の健康度改善につながる事を示すよいモデルといえます。今後とも、喫煙させない啓発指導と禁煙サポート体制をより充実し、禁煙教育の一層の強化に取り組んでいきます。

【学生ラウンジの設置】

総合的な学生相談窓口として、保健管理センターと連携した「学生ラウンジ」を設置し、既存のキャンパスライフヘルパー、学生相談室員、教務厚生委員、学務関係事務職員等の機能を効率的かつ有効に連携させ、メンタルサポート体制等の充実を図ります。また身体的・精神的健康度を保てないなどの理由による不登校・長期休学・退学の減少を目指します。本年度は、学生が集まりやすい大会館に「学生ラウンジ」を整備して、学生相談の受け入れを開始しました。

生涯健康教育の重要性

将来の予想される健康障害を予防することが可能に

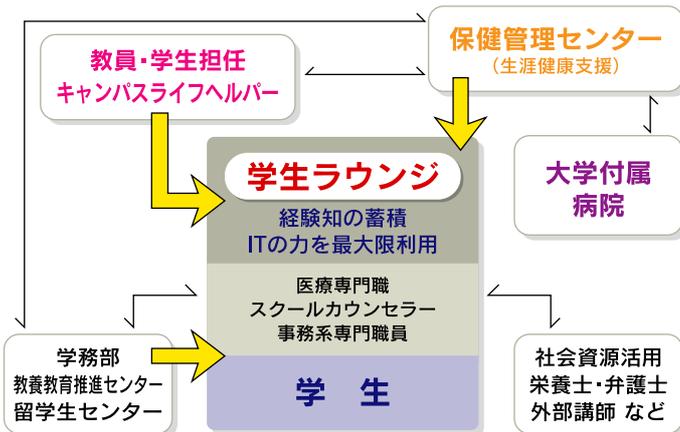
学生時代に可能な健康支援の対象	予防が期待できる疾病など
肥満	→ 糖尿病・動脈硬化など
やせ・生理不順	→ 不妊・骨粗鬆症など
禁煙	→ 慢性呼吸器疾患・癌など
メンタルヘルス失調	→ 社会適応不良など
睡眠障害	→ うつ、気分障害など
口腔内ケア不良	→ 歯周病・各種生活習慣病
慢性頭痛	→ QOLの低下
予防接種・感染症予防啓発	→ 予防可能な感染症

組織的取り組みの成果 岐阜大学生の喫煙率の変化



新たな取り組み:学生ラウンジ・専門職員・ITの力

全学的な生涯健康支援ネットワーク



学生ラウンジ

【運動サポートの実施】

体育館に健康トレーニング設備を設置するとともに、体重・体脂肪計、血圧計、カロリーメーター等も整備し総合的運動サポート体制を充実して、健康自己管理能力を高めるための指導も行います。





本学は「学び、究め、貢献する岐阜大学」を理念に、豊かな人間性と学識を備え、高い判断力、構想力、行動力を持つ人材の育成をめざしています。このような広い視野と総合的な判断力を備えた卒業生が、社会で活躍を続けるためには、生涯を通じて、自分の健康を自己管理する能力を養うことも、大学で学ぶべき重要なことと考えています。そこで、本学は、学生憲章や教育基本戦略に、学生の生涯健康教育と健康支援の重要性を明文化しています。

学生憲章 学び、究め、貢献する岐阜大学

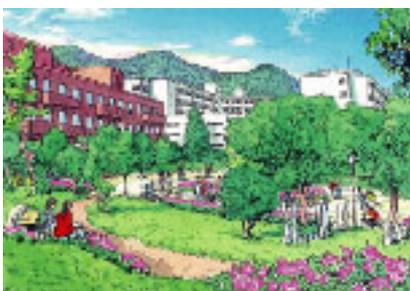
- 1.本をたくさん読み、学んでいく上での土壌を作ろう。
- 2.文学と芸術を愛し、人間と自然への理解を深めよう。
- 3.専門職業人として、高度な専門知識を身につけよう。
- 4.自分の考えを論理的な文章にまとめ、発表できるようにしよう。
- 5.国際語である英語をマスターし、十分に意志疎通できる実力をつけよう。
- 6.IT技術により、正しい情報の受信と発信ができるようにしよう。

7.長い人生を生きるための体力をつけ、健康を守ろう。

教育基本戦略

自ら考え、行動し、広い視野をもった人材を養成する。

- ・教養教育を重視し、自然、社会、人間についての理解力を高める。
- ・教養教育の実施責任体制を明確にする。
- ・論理的に考え、発表する能力を育てる。
- ・芸術や文学などを通して、人と自然に対する深い理解と倫理観を養う。
- ・異文化を理解するための教育をさらに深め、国際的な視野と見識をそなえた学生を育てる。
- ・英語力を確実にするため、外部資格(TOEIC、TOEFL、英検など)を学習目的に加える。
- ・生涯健康教育として、運動習慣を付けると同時に、禁煙教育を徹底する。教職員は禁煙し、学生に範を示す。



国立大学法人
 **岐阜大学** GIFU UNIVERSITY

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1
Tel:058-293-2145 Fax:058-230-1410
<http://www.gifu-u.ac.jp/>